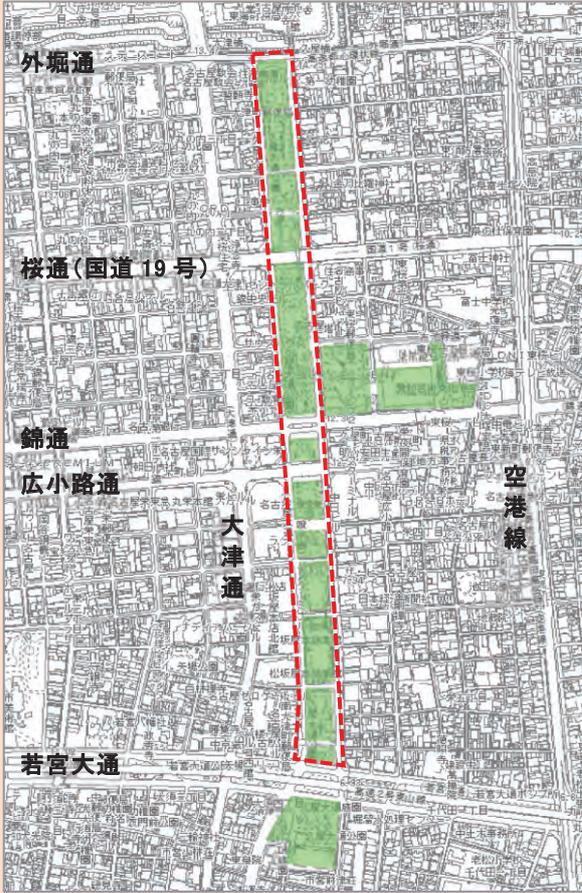


参考資料

久屋大通の諸元



■施設概要
 久屋大通 全長約 1.7km
 久屋大通公園 約 16.5ha

■法規制の状況
 都市計画道路 3・1・1号久屋町線
 都市計画公園 8・5・8号久屋大通公園
 広域避難場所（地震の揺れ、大規模な火事）
 久屋大通都市景観形成地区
 用途地域 商業地域、防火地域
 兼用工作物（道路及び都市公園）

■立地環境
 都心部の栄地区の中心に位置し、名古屋城と大須方面を結ぶ南北に長い公共空間であり、沿道には、区間ごとに居住や文化芸術、商業（百貨店）機能が連担する界隈が隣接している。

■交通アクセス
 久屋大通の地下を地下鉄名城線、名鉄瀬戸線が通り、4駅に接するとともに、栄バスターミナル（オアシス21）が立地するなど公共交通が発達している。
 また、幹線道路とネットワークを形成し、大規模な都市計画駐車場が3つ設置されているなど、自動車のアクセス環境にも優れている。

■ 都市計画道路 3・1・1号 久屋町線の範囲
 ■ 都市計画公園 8・5・8号 久屋大通公園の範囲

出典：名古屋市都市計画基本図（令和2年）を基に作成

久屋大通の経緯

年月日	経緯
昭和 24 年	戦災復興事業による久屋大通の整地工事が開始、昭和 30 年に形態完成
昭和 29 年	日本初の集約電波塔である名古屋テレビ塔(現・中部電力 MIRAI TOWER)が開業(令和 4 年重要文化財に指定)
昭和 40 年	名城線(市役所-栄)が開業
昭和 42 年	名城線(栄-金山)が開業
昭和 42 年	久屋大通公園の建設が開始、昭和 45 年に都市公園として供用開始
昭和 61 年	市政 100 周年を記念して久屋大通公園(現・南エリア)設計競技を開催(平成 6 年に概成)
平成 19 年 3 月	久屋大通都市景観形成地区が運用開始
平成 25 年 6 月	「栄地区グランドビジョン」を策定
平成 28 年 5 月	「久屋大通再生有識者懇談会」を設置
平成 29 年 9 月	同懇談会からの提言を受けて「久屋大通のあり方」を策定
令和 2 年 2 月	栄バスターミナル跡地の「ミツコシマエ ヒロバス(現・サカエ ヒロバス)」がオープン
令和 2 年 3 月	同懇談会が「久屋大通のあり方(南エリア部分)」を提言
令和 2 年 9 月	Park-PFI により北エリア・テレビ塔エリアが「Hisaya-odori Park」としてオープン
令和 4 年 3 月	「伏見・栄地区都市再生安全確保計画」を策定



久屋大通の位置づけ

戦災復興により生み出された久屋大通

名古屋のまちは戦災復興計画に基づき都市基盤が整備され、今日まで名古屋の発展と人々の生活を支えてきました。

久屋大通はその戦災復興のシンボルのひとつであり、災害時には火災などの延焼防止と避難所としての機能を持ち、平常時には市民の保健衛生のための遊歩地帯やグリーンベルトとして、都市の美観を向上させる目的と機能をもった100m道路として計画されました。



復興区画整理による街路構成の変化
出典：新修名古屋市史 第七巻

久屋大通都市景観形成地区

景観形成の方針として、スケールの大きな空間と豊かな緑に相応しい品位ある洗練されたデザインの街並みとし、にぎわい、憩い、親しみを感じる人間性豊かで活力ある都市空間とすることが掲げられています。



久屋大通都市景観形成地区の区域

名古屋都心部における賑わい交流軸

名古屋都心部には、広幅員の幹線道路が縦横に走っており、主要な移動経路としてだけでなく、その沿道において、商業・業務機能などが集まり都市の軸線を形成してきました。

久屋大通は、栄地区の象徴たる緑豊かな久屋大通公園を含む南北のシンボリストリートかつエリア有数のイベント空間として、沿道の土地利用と一体となった開放感にあふれた都市空間を形成し、街を訪れる人々に憩い・うるおいと楽しさを提供する「緑豊かな開放感あふれる南北軸」としていくことが掲げられています。



都心部まちづくりビジョン／名古屋市（平成31年3月）

参考資料

本市では、久屋大通が名古屋の都心部にふさわしい統一感と個性の両立した空間になるよう、事業の各段階において有識者や専門家から提言・提案をいただきながら事業を進めていくため、平成28年度に久屋大通再生有識者懇談会を設置しました。また、南エリアの検討に関しては、懇談会での意見聴取に加えて、平成29年度から本市が地元関係者で構成された各グループと意見交換会を開催するとともに、その各代表者と懇談会の構成員が意見交換する場として南エリア検討部会を適宜開催してきました。

久屋大通再生有識者懇談会 構成員

氏名	役職【分野】	備考
堀越 哲美	工学博士 【都市計画】	座長
涌井 史郎	東京都市大学環境学部 特別教授 【空間デザイン】	総合プロデューサー
今西 良共	岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 【公園緑地】	
中村 英樹	名古屋大学大学院環境学研究科 教授 【交通】	
牧村 真史	作戦本部(株) 戦略局局长 【イベントプロデューサー】	

(座長、総合プロデューサーを除き五十音順、敬称略)

過去の構成員

氏名	当時の役職【分野】	備考
辻 のぞみ	名古屋短期大学英語コミュニケーション学科 学科長・教授 【観光】	平成30年度 ～令和元年度
森田 優己	桜花学園大学学芸学部 教授 【観光】	～平成29年度
保井 美樹	法政大学現代福祉学部・人間社会研究科 教授 【まちづくり】	～令和3年度

(五十音順、敬称略)

グループ別意見交換会 構成団体 (平成29年度～)

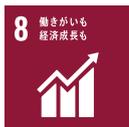
グループ名	構成
周辺地上企業グループ	J.フロント都市開発(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、 (株)中日新聞社、中部日本ビルディング(株)、(株)名古屋三越
周辺地下企業グループ	(株)エンゼルパーク、サカエチカマチ(株)、(株)名古屋交通開発機構
地元・まちづくり団体グループ	老松学区、大須学区、大須商店街連盟、 錦三地区の都市景観をよくする会、栄学区、 栄東まちづくりの会、栄ミナミまちづくり(株)、久屋大通発展会
イベント主催者グループ	(株)エフエム愛知、(株)CBCテレビ、(株)CBCラジオ、 (株)ZIP-FM、中京テレビ(株)、テレビ愛知(株)、 東海テレビ放送(株)、東海ラジオ(株)、名古屋テレビ放送(株)
商店街グループ	名古屋市商店街振興組合連合会

(五十音順)



これまでの取組経過

年度	主な事項
平成 25 年度	・「栄地区グランドビジョン」の策定・公表
平成 26 年度	・久屋大通再生社会実験 ・久屋大通再生シンポジウム
平成 27 年度	・久屋大通再生社会実験
平成 28 年度	・久屋大通再生有識者懇談会 ・久屋大通のあり方（久屋大通再生有識者懇談会提言）
平成 29 年度	・「久屋大通のあり方」の策定・公表 ・久屋大通再生有識者懇談会 ・久屋大通再生有識者懇談会南エリア検討部会 ・グループ別意見交換会 ・久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）整備運営事業提案募集
平成 30 年度	・久屋大通再生有識者懇談会 ・久屋大通再生有識者懇談会南エリア検討部会 ・グループ別意見交換会 ・栄バスターミナル（噴水南のりば）跡地暫定活用事業提案募集
令和 元 年度	・久屋大通再生有識者懇談会 ・久屋大通再生有識者懇談会南エリア検討部会 ・グループ別意見交換会 ・ミツコシマエ ヒロバス（現・サカエ ヒロバス）開業 ・久屋大通のあり方（南エリア部分）（久屋大通再生有識者懇談会提言）
令和 2 年度	・久屋大通再生有識者懇談会 ・久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）（Hisaya-odori Park）開業
令和 3 年度～	・グループ別意見交換会



久屋大通（南エリア）再整備構想

令和7年3月

名古屋市 住宅都市局 リニア関連都心開発部 都心まちづくり課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL 052-972-2778・2746 FAX 052-972-4171

MAIL a2768@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

